

# いたくら 議会だより

## 今月の 主な内容

- ◆ 9月議会・補正予算質疑 …………… 2 P
- ◆ 一般質問（2人）…………… 5 P
- ◆ 平成27年度決算認定 …………… 7 P
- ◆ 事務事業評価・議会日誌ほか …… 11 P
- ◆ 町政へ一言 …………… 12 P

2016 11 / 1

第139号



行政区が再編されて初となる  
第52回町民体育祭開催10月9日(日)

平成28年第3回定例会が、9月6日から20日までの15日間の日程で開催されました。今回の定例会では、諮問2件、同意2件、報告1件、専決処分事項の承認1件、条例の改正議案1件、役場庁舎建設の契約に係る議案4件、補正予算議案3件のほか、平成27年度一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算の認定議案6件を含めた20議案が審議されました。



人事案件の同意・条例改正・役場庁舎建設の契約に係る議案・決算認定など全20議案を審議

## ごみ指定袋の廃止を可決

## 平成27年度決算を原案どおり認定

## 一般質問には2人が登壇

9/6(火)  
議会初日

### 人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦について  
人権擁護委員は法務大臣が委嘱するものです。委員の推薦については議会の意見を聞くことになっており、平成28年12月31日をもって任期満了となる馬場信雄さんについては、後任者に松村美枝子さんを推薦し、渡邊宗一さんについては、引き続き推薦することに同意しました。

◆板倉町固定資産評価員の選任について

前固定資産評価員の丸山英幸さんが人事異動により戸籍課長の職を退いたため、後任者として戸籍課長の峰崎浩さんを選任することに同意しました。

◆板倉町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
固定資産評価審査委員会委員の鈴木喜一郎さんが、平成28年9月19日をもって任期満了となるため、引き続き選任することに同意しました。

### 報告

◆平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について  
健全化判断比率については実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標で構成

されます。当町においては、実質赤字ではないため、実質赤字比率は算定されません。連結実質赤字比率についてもすべての会計が実質赤字又は資金不足ではないため、算定されません。

次に、実質公債費比率は、5・9%で前年対比0・8%減となりました。また、将来負担比率は、充当可能基金と元利償還金の普通交付税における基準財政需要額算入見込額を併せた充当可能財源等が、町債残高などを主とした将来負担額を上回ることとなったため、将来負担比率は算定されません。資金不足比率については、公営企業会計（水道・下水道事業会計）ごとに算定し、いずれも資金不足ではないため、資金不足比率は算定されませんでした。

項目	補正額(単位:千円)	予算総額(単位:千円)	可決補正予算
一般会計	22,747	6,473,239	
国民健康保険特別会計	15,155	2,355,072	
介護保険特別会計	10,523	1,239,057	

### ◆本会議・補正予算

初日の本会議終了後、予算決算常任委員会を開催し、補正予算関係議案3件の審査を行いました。

議案第40号 平成28年度板倉町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,274万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を64億7,323万9千円とするものです。

### 条例改正

◆板倉町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について  
平成29年4月から館林市・明和町と一緒に広域で生ごみ・可燃ごみ・ラップ系や粗大ごみ等を処理していく計画の中において、ごみの指定袋制度を館林市に合わせて廃止するものです。また、一般家庭における粗大ごみの搬入先については、「資源化センター」が広域ごみ処理に伴って廃止されるため、「町一般廃棄物処理計画」において指定する「ごみ処理施設」として改めるものです。

### 補正予算質疑

◆戸籍課長  
確定申告や修正申告等により医療費控除や扶養控除等で還付金が発生する。昨年度の実績から当初予算額の400万円では、不足することが見込めるため、100万円を追加するもの。

### 企画財政課長

◆荒井委員  
町税徴収管理業務の過誤納還付金が100万円追加されるが、どのような内容か伺いたい。

◆戸籍課長  
確定申告や修正申告等により医療費控除や扶養控除等で還付金が発生する。昨年度の実績から当初予算額の400万円では、不足することが見込めるため、100万円を追加するもの。

◆本間委員  
地方創生三県境広域連携事業の駅広告料として350万円を計上しているが、どのような内容か伺いたい。

◆企画財政課長  
栃木市、加須市、板倉町の2市1町で取り組む三県境広域連携事業としての補正であり、350万円の算出根拠としては、PR用ポスターの広告が近隣駅5駅へ8週間、本線主要駅8駅へ1週間程度を予定している。更に本線主要駅10駅にデジタル表示広告として4週間程度を見込んでい



るが、東武鉄道(株)との具体的な交渉についてはこれからである。

### 市川委員

◆市川委員  
公共施設等整備維持基金積立金として、みつばち学童クラブからの寄付金を519万7千円追加するが、どのように使っていくのか伺いたい。

### 企画財政課長

◆針ヶ谷委員  
複合機管理事業の複合機リース料として13万2千円を

### 総務課長

◆総務課長  
複合機のリース契約については、年度当初に行っている。13万2千円の追加については、議会に複合機を新たに設置するためのものであり、7か月分のリース料である。

### 小林委員

◆小林委員  
有害鳥獣駆除事業の消耗品費として17万円を追加している。ハクビシンの捕獲箱を10台購入するということだが、昨年度と比べてどうか、状況を伺いたい。

### 産業振興課長

◆産業振興課長  
昨年度の状況としては、ハクビシンが15頭、タヌキが12頭の合計27頭を捕獲している。今年度については、8月末の時点で、合計21頭を捕獲しており、そのうちハクビシンは16頭で昨年度より増えている。もともと14台あった捕獲箱は、補正をしようとした段階で全てが貸し出されており、更に10人の町民が空くの



▲ハクビシン用の捕獲箱

◆議案第41号 平成28年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,515万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を23億5,507万2千円とするものです。

◆議案第42号 平成28年度板倉町介護保険特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,052万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を12億3,905万7千円とするものです。

◆なお、補正予算関係の3議案については、第2日目の9月7日の一般質問終了後、予算決算委員長報告の後、全会一致で原案どおり可決となりました。

◆本会議・一般質問

**問**・公共施設は災害が発生したとき、町民の避難施設として重要な場所になるが、町内4箇所ある公民館やわたらせ自然館の耐震化の状況は。

**答**・都市建設課長 公共施設は役場庁舎、各地区の小学校、板倉中学校、各公民館、福祉施設等37棟あるが、診断を行ったのは13棟で8棟に耐震性があり、耐震化が必要とされたのは5棟である。このうち4棟の耐震改修は終わっており残りは役場庁舎だけである。基本的に

公共施設の耐震化は



災害時の対策は

昭和56年以前の施設については耐震診断を行っているが、耐震性があると診断されたものは、改修は基本的にやっていない。

**問**・災害はいつ、どこで発生するのかわかりにくく、事前には予知することは、ほとんど不可能であると言われているが、万一大災害に町が見舞われた時、現庁舎が使用できない時の対策は。

**答**・総務課長 現庁舎に災害対策本部を設置することになっているが、これが被災した場合迷わず耐震性のある中央公民館に設置し対応に当たる。その上で通常の役場業務を復活させることになるが、国より業務継続計画というガイドラインが示され

災害時の収容能力は

**問**・災害時、町内施設での町民収容能力は約9,000人であるが、新庁舎が完成時の収容能力はどのように考えるか。

ており、必要性に応じた優先順位の業務を整理していくことになる。新庁舎が完成した場合は当然計画の段階で耐震構造になっているので、災害対策本部についても設計上組まれている。



▲耐震性に懸念のある庁舎

**問**・新たに誕生した三県境はテレビ、新聞等で取り上げられ人気が高まっているが、町ではどのように捉えているか。

**答**・産業振興課長 三県境というスポットを目安にお客さんが集まれば、そこ

三県境をどのように捉えるか

**問**・新庁舎建設の契約議案が9月定例議会で否決された状況にある。現庁舎を見れば新庁舎の必要性は誰の目にも明らかであると思う。災害時には町の防災拠点となり、この先数十年と町を見守るシンボルとなることを考えると、採決を否決された今、これらの担保はどこにあるのだろうか。

(意見) 一日も早い新庁舎建設を

**答**・総務課長 計画は、大体面積的に600㎡確保でき、寝泊まりするには一人2㎡必要であることから300人と考えている。

今後の展開は

**問**・三県境を一過性の人気で終わらせず、持続的な観光資源として活用するための町の方針は。

**答**・産業振興課長 加須市、栃木市、板倉町で整備の内容スケジュール等の検討を進めている。板倉町の考え方だけでは進められないが、会議を通して現地のモニタリング的なもの、アプローチ道の整備等、合意案を持ち寄って協議中である。



▲新たに誕生した観光スポット「三県境」

一般質問

議会 2日目  
9月7日(水)

①本間清議員

防災拠点の役割も果たす「新庁舎建設」の一日も早い完成を！

役場庁舎建設の契約に係る議案を賛成少数で否決

- ◆議案第36号 板倉町役場庁舎建設事業造成工事第1期工事の契約について
- ◆議案第37号 板倉町役場庁舎建設事業建築工事の契約について
- ◆議案第38号 板倉町役場庁舎建設事業電気設備工事の契約について
- ◆議案第39号 板倉町役場庁舎建設事業機械設備工事の契約について

【議案内容】 本4案については、板倉町役場庁舎建設事業に係る造成工事第1期工事、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の請負契約を締結するにあたり、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議決を求めるもの。

【反対討論要旨・今村議員】

現在、本町におきましては50年、60年に1度の2つの大事業が同時並行で進められている。1つは役場庁舎の建設であり、この事業費のほとんどが町民の税金で賄われる事業である。もう一つは館林市との合併であり6月1日に法定合併協議会が設立され協議が進められている。この2事業は関連があり、庁舎関連議案は合併しない規模の床面積4,150㎡のものであり2事業の整合性が現時点ではとれていない。ねじれ現象のまま着工するのは問題がある。この現実を直視し2大事業の整合性がとれてから着工すべきと考え反対討論といたします。

【賛成討論要旨・市川議員】

庁舎建設は3月議会で議決され、建設委員会30名の代表者で4年間、慎重審議を重ね合併を視野に入れ議場は町民の為、多目的に使える設計とし防災拠点と避難所を兼ねた庁舎ができる事で、町民の安心安全の確保になる。合併には関係なく必要な庁舎である。入札は公正かつ適正に行われ、信頼できる業者であり、いつでも何が起るかかわからない今日でもある。計画通り進める事で大きなコスト削減になるので、庁舎建設事業は賛成します。

【反対討論要旨・小森谷議員】

板倉町役場庁舎建設における委員会審議の中で、具体的な合併を前提とした建設計画ではなく、現庁舎に代わる庁舎構想であった。その基礎となる面積算定は近隣自治体の人口や職員数を参考に算出された規模である。合併を視野に入れた庁舎建設について具体的なテーマをもって検討された経緯はない。合併を視野に入れた場合、役場機能の見直しや職員数の大幅な削減が見込まれる。新庁舎の規模・町民サービスのあり方等の見直しは当然のことである。

【賛成討論要旨・延山議員】

建設委員会において合併を視野に入れ慎重な議論を重

ね進められてきた。ほぼ全員の賛成により意見を集約工事契約へととなった。加えて審議に参画されてきた歴代区長会から庁舎建設について速やかに進めるべきと要望書が提出されている。またこの度の議決案件は工事契約の締結に伴うもので入札の方法、落札価格、業者の適正性についての審議であり合併に絡めて規模の縮小、計画の凍結等については委員会で決着済みであり提出議案は賛成。

【反対討論要旨・荒井議員】

現在合併問題が審議されているが、新庁舎の建設と合併は切り離せない問題である。その点を踏まえ申し上げたい。新庁舎建設の着工時期は現在進行中の法定合併協議会の審議結果、町民による合併の賛否を踏まえて判断すべきである。現時点での着工ではなく、一時延期することがいいと思う。法定合併協議会では……(以下、反対理由を詳しく論述しようとしたが、議案の趣旨に沿っていないという事で、発言を遮られる。)

【賛成討論要旨・本間議員】

私たち板倉町民は町外から来た人に対して、これが板倉町のシンボルですと言って自慢できる建物があるだろうか。1つぐらいあっても良いと思うし、町民もそれを望んでいると思う。建物規模の大小の問題は多少なりあるかも知れないが、災害時、町民の避難施設の1つとして重要な場所となる新庁舎建設を計画どおり進めることに賛成です。

【反対討論要旨・針ヶ谷議員】

本議案4件については反対。3月定例会で予算が可決された際は法定協議会は未定の状況で、正式に設立を見た現在、役場庁舎として入札・仮契約・本契約を実行することに妥当性があるとは思えない。町民の血税20億で建てた施設が役場庁舎として利用されず、支所等になることに納得できない。

議案名	議員氏名・議席順										議決結果		
	小林武雄	針ヶ谷稔也	本間清	亀井伝吉	島田麻紀	荒井英世	今村好市	小森谷幸雄	延山宗一	黒野一郎		市川初江	青木秀夫
議案第36号 板倉町役場庁舎建設事業造成工事第1期工事の契約について	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	議長	賛成少数否決
議案第37号 板倉町役場庁舎建設事業建築工事の契約について	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	議長	賛成少数否決
議案第38号 板倉町役場庁舎建設事業電気設備工事の契約について	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	議長	賛成少数否決
議案第39号 板倉町役場庁舎建設事業機械設備工事の契約について	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	議長	賛成少数否決

※議会基本条例の施行に伴い、賛否が分かれた議案のみ結果を議会だよりへ掲載します。なお、議長は賛否同数の場合に裁決します。(○：賛成、×：反対)

住みやすい町を住みたい街へ



小学校の統廃合について

問・昨年12月に準備委員会が発足し、予定では住民説明会や予算化の時期になつているが現状はどうなっているか。

答・教育長 準備委員会は昨年12月以来開催されていない。年度替わり、事務局スタッフの変更による行程、準備内容の精査、見直しが必要になつた。スクールバスの導入・運営が検討課題で、準備を整えば2回目の準備委員会を開催したい。問・スクールバスの導入・運営の具体的な問題は、



答・教育委員会事務局長 運行のコース設定や運行形態、バス・運転手に係る費用の問題がある。栃木市、佐野市などの視察を踏まえ運行コース、運行形態、費用面を検討している。コースは2路線、運行形態は費用面を考慮して、3パターンを検討中。問・6年後(平成34年)の小学校入学予定者が全町で58(西24、北8、東19、南7)名であるが、予定通り2校体制でいくのか。

答・教育長 東と南の合計が26名で1クラスとなるが乗り切れると考えている。

国道354号線(東毛広域幹線道路)について

問・平成26年8月に高崎駅東口から板倉ゴルフ場入り口までの総延長58・6キロメートルの東毛広域幹線道路が開通し、平成29年度中にはその先のバイパスも完成の予定であるが、広域道路の4車線化の予定はどうなっているか。

答・都市建設課長 既に4車線の用地は確保されている。平成26年度の邑楽館林地域市町村懇談会などで県へ要望を行つてきた。県の回答はバイパス開通後、交通量の状況を見極めて検討するとのことである。



▲国道354号線バイパスの様子

問・先に4車線化することで交通量も増えるのではないかと。問・町長 町もその観点から毎年陳情してきた。県の判断は前述のとおり。問・水郷公園を含めた道の駅構想を提案したいがどう思うか。

答・都市建設課長 板倉北川辺バイパスの整備、板倉バイパスの4車線化が図られると交通量の増加が見込まれる。国道沿線の観光資源の活用と来訪者の集客は重要なポイントになる。24時間無料で利用可能な駐車場やトイレ、休憩所、道路情報提供施設や地域振興施設を備えた道の駅は地域の活性化を図る上で重要と考えるが、今のところ具体的な計画は無い。

問・前橋バラ組合は、国や県の補助事業を利用し平成元年に数名の若手でハウ入団地を建て、現在では日本有数のバラの生産地域に成長し、近隣にはローズタウンという住宅地があり、周辺の商業施設は何々ローズタウンとおしゃれな名前がついている。板倉町でも同様なことができないか。

答・町長 基本的には、強い意志を持った集団の場所・面積、方法などの提案があれば町は最大限の補助金や支援を行う。

農地基盤整備について

問・農地の集積を進め機械化を促進しても、農業人口が限られている以上耕作できない農地が出てくるのではないかと。答・産業振興課長 中長期的な視点でみると心配な点ではある。一義的ではあるが農家の負担を伴わない基盤整備を進め、流動化し、耕作能力のある農家に維持を依頼することが現時点での解決策である。担い手の育成も考慮していく。

決算額

Table with 6 sections: 1. 一般会計, 2. 後期高齢者医療特別会計, 3. 国民健康保険特別会計, 4. 介護保険特別会計, 5. 下水道事業特別会計, 6. 水道事業会計. Each section lists 歳入総額, 歳出総額, and 差引残額.

使ったお金は いくらなの? (一般会計) 55億 2千6百万円

9/20最終日 平成27年度決算 一般会計・特別会計を 全会一致で認定しました

監査委員の意見書と共に町長から提出された、平成27年度一般会計及び特別会計決算については3日間をかけて予算決算常任委員会にて審査し、議会最終日に委員長報告の後、全会一致で認定しました。

平成27年度決算について、予算決算常任委員会を3日間開催して審査した主な質疑を掲載します。

一般会計 主な質疑

認定第1号 平成27年度 板倉町一般会計歳入歳出 決算認定

企画財政課

本問委員

問 本庁舎耐震診断委託料として約400万円とある。新庁舎計画が進んでいる中で、耐震性がないことは分かっているのに、あえて耐震診断をしたのはなぜか伺いたい。

企画調整係長



既存の庁舎を耐震改修するための国庫補助事業がある。この国庫補助事業の補助率は3分の1だが、補助を受けるためには、既存の庁舎に耐震性がないことを証明しなければならぬため、この時期に耐震診断を実施した。既存の庁舎面積1,200㎡で、約2,000万円の補助金を受けることができる。

決算審査意見書

【審査期日 平成28年8月4日(水) 監査委員 江田音吉 小森谷幸雄】 総括的意見 平成27年度においては、一般会計及び特別会計並びに下水道事業会計を通じた決算は、その計数に誤りがなく、適切な予算執行がなされていたものと認めます。各会計とも非常に厳しい財政運営のもと、総体的には、有効かつ適切な予算の執行によって、町民福祉の向上と地域社会の発展に努力されており、行政目的が大方達成されたものと評価いたします。 今後、地方分権、行財政改革を推進していくうえで、これらの趣旨を十分認識し、健全な財政運営の堅持にお一層の努力を期待するものであります。

◆決算認定(平成27年度一般会計 主な質疑内容)

問 青木委員

歳入における地方譲与税の地方揮発油譲与税と自動車重量譲与税の算出根拠は何か。また、その用途は、道路新設とか、道路改修とか限定されているのか伺いたい。

答 財政係長

地方揮発油譲与税については、ガソリン税に含まれている国税のうちの42%を、自動車重量譲与税については国税のうち40・7%を国が市町村道の延長で半分、市町村の面積で半分を案分して交付しており、用途については、一般財源として交付されているため、制限はない。

総務課

問 荒井委員

地域振興事業とあり、役員費に損害賠償保険料114万7,093円とある。保険適用件数2件とあるが、具体的な内容を伺いたい。

答 行政安全係長

平成27年度は2件あり、1件目は仲伊谷田遊水池の雑草

都市建設課

問 青木委員

平成27年7月から実施している移住促進事業については、昨年度は10件で300万円とあるが、要件について伺いたい。また、例として転入後1年で転出してしまったような場合はどうなるのか。

答 都市建設課長

移住促進事業については町の要綱で要件を定めている。主なものとしては、基準日の平成27年4月1日以降に転入した方が住宅を取得したこと。転入日の前2年間は板倉町に住んでいないこと。取得した住宅に5年以上継続して定住することなどがある。また、1年で転出してしまった場合は、状況に応じて返還を求めることになる。

問 小林委員

公園維持管理事業に公園遊具撤去工事2件とある。公園の遊具については十分な安全対策が必要であると思うが、撤去となる遊具はどのように決めているのか伺いたい。

による農作物への被害によるもの。もう1件は、町民体育祭においてけがをされた方へのもので、保険が適用された。

問 針ヶ谷委員

自動車体外式除細動器(AED)については、本庁舎、第二庁舎、西庁舎で1台設置されているが、AEDがあっても、緊急時に冷静に対応することは容易ではないし、正しく装着しないと効果がない。自信をもって救急活動にあたる職員が何人かは必要かと思うがどうか。

答 総務課長

ご指摘のとおりかと思う。過去には講習会を開催していたが、最近は開催していないため、そのことを考慮して対応していきたい。



▲第二庁舎に設置されているAED

答 計画管理係長

公園にある遊具の撤去に関しては、地元からの要望による場合と町の定期的な確認により不具合を発見する場合とがある。町で発見した場合についても行政区と相談をしたうえで撤去等の工事を行うようにしている。



産業振興課

問 延山委員

機構集積協力金として21万円とある。農地の貸し手側への補助金であり、このような補助事業を利用することで農地の流動化が図られる。今後どのように中間管理機構を活用していくのか伺いたい。

答 産業振興課長

中間管理機構の機構集積協

福祉課

問 延山委員

学童保育整備運営委託事業とあるが、みつばち、ひまわり、まきば、そらいろ、北の学童クラブへの1人あたりの委託料を計算するとだいぶ差がある。どのように計算しているのか伺いたい。

答 子育て支援係長

学童クラブの委託料は、1人あたり幾らというものではない。みつばち学童クラブを例に挙げると、常時登録者数25人に対する基準額があり、それが342万円、それに250日以上開設した場合と8時間以上開設した場合の加算額を加えて合計額が436万2,500円となる。

問 市川委員

災害救助費の災害見舞金支給事業で5件36万円とあるが、1件あたり7万2,000円ということなのか。それとも災害によって金額が異なるのか伺いたい。

答 社会福祉係長

教委事務局

平成27年度は火災に対する見舞金を支給した。火災でも居宅なのか付属屋なのか、全焼なのか半焼なのかによって変わってくる。また、家族の人数によっても支給額が異なる。

問 島田委員

尾瀬学校補助金と昆虫の森・天文台自然学習教室事業費補助金とある。尾瀬学校は北小学校が、昆虫の森・天文台自然学習教室は北小学校と南小学校が参加していると思うが、町内の学校ごとに参加状況に違いがあるのはなぜか伺いたい。

答 総務学校係指導主事

尾瀬学校については、群馬県環境保全課が小学校にPR活動を行っているが、参加しているのは北小学校のみである。また、昆虫の森・天文台自然学習教室についても2校のみの参加となっている。補助金対象ということで決算書に記載されているが、学校ごとに児童数などが異なるため、それぞれの学校の事情に

問 本間委員

外国青年招致事業ということで、町内には現在4人の外国語指導助手がいる。小学生の時に覚えた外国語はなかなか忘れないものである。小学校で身につける外国語の基準というものはあるのか伺いたい。

答 総務学校係指導主事

現段階では、5年生・6年生での外国語活動についてはコミュニケーション能力を高めるといって程度で具体的な基準はないが、小学校で英語が教科になる2020年度には文部科学省で目標等が示されると思う。



戸籍税務課

問 小林委員

個人番号カードについては、国がいろいろとPRをしてきたが、あまり普及していないように感じている。高崎市や前橋市では、コンビニエンスストアで住民票を交付できるようだが、郡内の自治体と比較して板倉町の発行状況はどうなのか伺いたい。

答 戸籍税務課長

発行率については国が調べた資料によると、板倉町が6・76%、大泉町が6・5%、邑楽町が5・1%、千代田町が6・2%ということで、概ね6%前後の発行率となっております。極端な差は生じていない。

環境水道課

問 市川委員

合併処理浄化槽設置費補助事業とあるが、町内の普及率と今後の見込みを伺いたい。また、周知方法についてもより充実させることが必要と考えるがどうか。

答 上下水道係長

ニュータウン内の公共下水道区域を除いた普及率は63%程度である。100%までには年間60基として計算しても約30年かかる。補助事業の周知については、町の広報紙で年2回、今年度からはホームページにも掲載している。補助事業があるうちに切り替えていた、できるだけ積極的に周知していきたい。



◀商工会発行のグルメガイド



(写真はみほんです)

▲1月から交付されている個人番号カード

議会日誌

- ◆8月
- 4日 決算審査
  - 6日 第32回板倉まつり
  - 18日 健全化判断比率及び資金不足比率審査
  - 19日 議会運営委員会/議員協議会/議員全員協議会
  - 23日 群馬東部水道企業団全員協議会
  - 24・26日 予算決算常任委員会 事務事業評価
  - 28日 館林厚生病院完成記念式典
  - 29日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
  - 27日 例月出納検査
- ◆9月
- 1日 役場庁舎建設委員会
  - 2日 第2回館林市・板倉町合併協議会
  - 6~20日 9月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会 所管事務調査、予算決算常任委員会 決算審査) 議員協議会、議員全員協議会、議会広報特別委員会 予算決算常任委員会 事務事業評価
  - 20日 百寿慶祝訪問
  - 21日 役場庁舎建設委員会
  - 24・25日 各地区小学校運動会/敬老の集い
  - 29日 例月出納検査
- ◆10月
- 1日 北保育園運動会
  - 3日 群馬東部水道企業団全員協議会
  - 6日 邑楽館林医療事務組合議会懇談会
  - 8日 板倉保育園運動会
  - 9日 第52回町民体育祭
  - 13日 加須市・板倉町幹線道路整備促進連絡協議会埼玉県要望
  - 14日 議会広報特別委員会
  - 21日 議員全員協議会
  - 25日 全国町村議会広報研修会
  - 26日 例月出納検査
  - 28日 群馬県町村議会議員研修会
  - 29日 第37回町民文化祭
  - 30日 館林地区消防組合消防隊秋季点検

価値観の多様化と言われているが 議長 青木秀夫

議長室エッセイ

「価値観の多様化」、「多様な生き方」などのテーマがいろいろな場で論じられている。そのようなテーマが議論されているということは、その逆の現象が広がっているということではないだろうか。

100年前の日本人は、今よりも多様で個性的で地域全体が特色のある生き方をしていたのではないだろうか。50年前でもその傾向は残っていたように思う。なぜ、多様な生き方、考え方が画一化の方向に変わってきたのだろうか。それは、高度経済成長下の高等教育の普及とマスメディアの発達、特にテレビが価値観、生き方の変化に大きく影響しているのではないかと思う。

テレビコマーシャルによる潜在的欲望の誘発、商業至上主義のテレビ番組、特に連続殺人事件ドラマなどは、経済第一の価値観形成を助長させ、その結果オレオレ詐欺から凶悪事件まで様々な犯罪、副作用を生んでいるのではなかろうか。

マスメディアの圧倒的情報は偏った価値観を生み出す場合もある。戦争遂行に加担した時代もあった事実をマスメディアは忘れてはならない。今の価値観の画一化も経済優先のマスメディアの影響が大きいと思うが。



町の事業を町議会で評価し、町長へ提言

板倉町議会基本条例運用基準第2条に基づき、平成28年8月24日から9月13日までの間、予算決算常任委員会を5日間開催し、事務事業評価を行いました。

評価にあたっては、各議員が町の事務事業から1事業を選択して合計12事業を評価することにしました。評価方法については各議員が事業選定の主旨を述べ、担当課長等から事業内容の説明を受けた後に質疑応答を行い、各議員が項目別評価の評価点を決定し、全議員の評価点を合計して今後の方向性を3段階に分けました。

その結果、現状のまま継続すべき事業として2事業、見直しのうえ継続すべき事業として10事業、廃止すべき事業はありませんでした。

この評価結果を議会の合議

- 結果として、次年度以降の予算編成に反映していただくよう提言しました。
- ◆現状のまま継続すべき事業 (2事業)
- ・館林地区消防組合負担金
  - ・不妊治療費助成事業
- ◆見直しのうえ継続すべき事業 (10事業)
- ・用地管理事業(未登記処理業務)
  - ・防犯活動推進事業
  - ・婚活応援事業
  - ・各公民館の教育支援体制等構築事業
  - ・農業後継者対策事業
  - ・多面的機能支払交付金事業
  - ・観光振興事業
  - ・配食見守りサービス事業
  - ・下水道維持管理事業
  - ・ごみステーション管理事業
- ◆廃止すべき事業(該当なし)
- ※評価結果の詳細は、町ホームページで公開します。

調整をしていきたい。

総括質疑

青木委員

平成27年度の決算について3日間にわたって審査をしてきた。毎年予算書と決算書を見ているが、マンネリ化しているように感じる。工夫をして削減できるものは削減し、廃止するものは廃止するというような形で予算編成をして欲しい。また、国民健康保険特別会計の赤字や下水道事業特別会計の赤字への繰入金については、削減の見通しすら立っていないので、職員、執行部、議会が一体となり改善に向けて努力する必要があると思う。さらに加えれば、職員の仕事内容が全く見えない。人が足りないのか、余っているのか。残業時間を見ると民間に比べて非常に少ない。残業を増やして職員を減らすようなことで来年度の予算に反映して欲しい。

総務課長

職員の残業時間については、民間に合わせることでよいのかは議論があると思う。職員をむやみに増やすことはできないので、少ない残業時間で成果を上げられるよう適正な人事配置に努めたい。

栗原町長

次年度の予算編成については、担当課長、担当係長と議員の助言、あるいは指摘に対して真剣に対応している。ご指摘の下水道事業特別会計の解決策としては、企業を誘致して下水道を利用していただくことに併せて、住宅を増やすことが最優先となるが、企業局の対応が問題になっており、住宅販売の加速化が見込めない状況である。また、残業時間の件については、同じ課、係内でその時間に差があることが問題であると感じている。就業時間の中で十分に仕事をし、それでも足りない分については、臨時職員で対応するということを基本と

**問 荒井委員**  
滞納整理事業ということですが、預貯金差押、所得税還付金差押、不動産差押など、合計で34件となっており、平成26年度よりも増えている。滞納整理を積極的に進めているということだが、差押えをした後の納税についてはどのようになっているのか伺いたい。

答 収税係長

当然のことだが、税金が完納になるまで差押えを続けることになる。その後の税金については、納期ごとに納めていたのだが、納期ごとの納付が厳しい方については、分納ということでも滞納額を増加させないような対応をお願いすることになる。

会計課

問 荒井委員

会計管理事業に手数料とあるが、銀行とゆうちょ銀行とで手数料の金額に違いはあるのか伺いたい。

答 会計管理者

銀行は収納代理金融機関等

健康介護課

問 延山委員

というところで全ての手数料は1件あたり10円となっており、ゆうちょ銀行については、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料については、1件あたり10円、それ以外は1件あたり30円となっている。

問 延山委員

住民健診事業として686万2,000円とある。健康づくりのまち宣言をして、少しでも受診率を上げるような取組をされているかと思うが、健診においては、特に問診に時間がかかっているようである。問診に時間を要することも重要なことであると思うが、医師を1人増やすなどの対応もできるのではないかと。

答 健康介護課長

住民健診については、受診していただきやすい環境として、土曜日や日曜日を増やすように要望しているが、なかなか難しい。また、医師によって問診にかけられる時間が多少異なる。指摘されたことを踏まえて、今後健康づくり財団と

企画財政課長

財政担当としては、平成27年度の決算等については当然平成29年度予算に反映してい

- 認定第2号 平成27年度 板倉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第3号 平成27年度 板倉町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第4号 平成27年度 板倉町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第5号 平成27年度 板倉町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 認定第6号 平成27年度 板倉町水道事業会計決算認定



※なお、次の特別会計についても予算決算常任委員会で審査しました。会議録は、町ホームページ等で公開します。

生

きがいのある人生をボランティアで

くボランティアで幸せな町づくりく 大字飯野 高瀬正江さん



私がみずほ会に入会した一番の理由は、一人暮らしのお年寄りのお宅へお弁当を届けながら「お体の具合はいかが

ですか」と声をかけての見守りをするボランティアだったからです。現在は会員の数が少なくなつてしまい、手作りのお弁当を用意することができなくなつてしまいましたがお弁当の配達と見守りだけは続けています。そんな中「また手作りのお弁当が食べたい」と言つていただくと申し訳な

く思いですが、みずほ会の人もみんな自分の仕事を持ちながらのボランティアというところで無理はできません。少しでもお役に立てるようなお手伝いができる事が、みずほ会の会員としての喜びです。ボランティアの輪を広げることでみんなが幸せになれる、そんな町を望んでいます。

人

の付加価値について問う

く「町政へ一言」の過去歴を視てく 大字海老瀬 板本清実さん



皆さんが提言する共通点は「安心と魅力」と言う二点に集約できるのかなと考察します。「安心」は顕在化している価値

で、先人達が築き上げたものです。「魅力」は、未だ具現化されていらない潜在的な価値だと思つています。「付加価値」とは色々な場面で登場する専門用語ですが、この未来価値を創造できる人は「若い人達」です。私が係わる企業経営者達は、四十代の方が多く、お金・情報・時間の費やし方がパワ

フルで、自分を必要とされている事に満足感を得ています。町内にも熱い思いを持つ「人材」は沢山居ると思えます。混沌としている町政の舵取りは難しいと思いますが、「どういふ船」で「何処に向かうのか」適切な判断と決断が求められています。泥船だけは勘弁ですー

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。なお、定例会は下記のとおり開催される予定です。

◆12月議会定例会（予定）

- 会期 12月6日(火)～12月14日(水)  
議事 (1) 条例改正などの議案審議・採決  
(2) 補正予算の審議・採決  
(3) 一般質問

※詳しい日程等については、後日議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先 役場議会事務局 電話82-1111 内線511番

編集後記

この夏リオ五輪が開催され、17日間で過去最高のメダル41個を獲得した。また、リオパラリンピックでは、12日間でメダル24個を獲得。このような結果を出すためには、日々の努力が欠かせない。「人間力なしにて向上なし」その目標に向かつて力を発揮できたことが、チームジャパンの好成績の要因の一つだと、チーム関係者が話していた。これはスポーツだけに限らず、日々の生活においても同じことが言える。

秋はスポーツ、芸術、読書等で人間力を高められる季節だと感じている。はたして、今の自分の人間力（人間性）がどの程度のものなのか、自問自答してみてもいいかがでしょう。

（議会広報特別委員 島田麻紀記）